

## 令和7年6月 教育委員会定例会（意見交換）

開催日時：令和7年6月24日（火）

テーマ：これまでの議論を踏まえた振り返り

### 【意見交換等】

○教育長

去る6月9日に第1回総合教育会議が開催され、第3期近江八幡市教育大綱について委員の皆様にご議論をいただいたところだが、本日はその振り返りをさせていただき、委員の皆様のお考えになられていることがあれば、ざっくばらんに教えていただけたらと思う。振り返りなので、感じていただいたことや、「もう少しこういう点について議論を深めたい」と感じておられること等があれば教えていただきたいし、意見交換ができればと思う。

○大更委員

できたら総合教育会議が行われる前に、教育委員会として「どのような方向で意見しようか」ということを一度協議してみてもどうか。総合教育会議で各々が好きに喋っているだけでいいのかどうか。

例えば、市長への要望も「教育委員会として、こういう内容・方針で進めていきたい」というようなことがあるのであれば、皆が一つの方向を向いて、「賛成の立場で話をします」とか、少し事前に協議しておいたらどうかと思った。

○教育長

ただいま大更委員からそのようなお話をいただいたが、これについて委員の皆様からご意見あればお願いしたい。

○大更委員

実は、私が総合教育会議で話をしていたときに、重森委員から「全ての子どもたちに」という話があって、私はどちらかというと「小学校や中学校の現場だけ」の話で進めていたが、重森委員の話を聞いて「なるほどな」と思った。4人でも「なるほど、そういう立場でも話をしていただけるのだな」ということが分かったのだが、事前に話が少しあれば、こちらとしてもいろいろな、もう少し広い意味で話をさせていただけたかなと思った。

○西田委員

大更委員のおっしゃるように、事前に何か方向性というか、「教育委員会としては、こう考えています」というものが何か一つある方が、話としてはまとまりやすいと思う。どうしても、委員がそれぞれの視点で話をしてしまうと、まとまりにくい。「結局何の話であったのか」みたいなことにもなりかねないので、総合教育会議以降の進捗という部分等を考えると、何かしらの方向性をある程度決めて話をしていく方が、その後の進捗、物事を進めるに当たっては良いのかなと思うので、事前の協議には大賛成である。

○重森委員

大更委員にそう思って聞いていただいていたということを嬉しく思った。

スケジュールについて、総合教育会議の開催の前に「今の大纲に対してどう思っているか」という意見があれば、それを踏まえてどうしていくべきなのかが分かるのだが、おおよそ終わって、夏にアンケートを取っていくということで、もう少し早く、今はまだ途中だが「子どもも含めて、どう考えているのか」が分かると、より深められるのではないかと思った。

ただ、アンケート調査やいろいろなことをするには時間も手間もかかるので、そうならざるを得ないという思いはありつつも、何か自分の思いを固める前にそういうものがあつたらいいなという思いをしながら参加させていただいた。

○教育長

今の重森委員がおっしゃったのは、総合教育会議全体の進め方で、一般の方、子ども、保護者、教員、そういったところのアンケート調査を早めにした方が良いという話であった。

○圓山委員

お尋ねしたいのだが、社会の課題でもある少子化で、近江八幡市の若者の流出率というのは、どれぐらいなのか教えていただきたい。

○教育長

それは、本市の中学校を卒業して、高校へ行って、大学へ行って、もう二度と本市に帰ってこない割合であるとか、そのあたりのことか。

○圓山委員

はい。

○教育長

なかなか難しいかもしれない。

どのような方法で把握できるのか、少し調べてみる。今は、そのようなデータを持ち合わせていないので今日は無理だが、そもそもそういうデータがあるのかどうかも含めて、調べてみる。

もしそれがあれば、どのようなことをお考えか。

○圓山委員

近江八幡市に、ふるさとに愛着を持つというか、近江八幡市を良くしようと思って戻ってきてくれる子どもが、どれだけおられるのかと思ってお尋ねした。

○教育長

おそらく教育大綱の目指すところを数値化できるのか、達成率が図れるのかということかと思う。

○西田委員

圓山委員のおっしゃるのは、費用対効果のような部分を感じる。

○大更委員

県の話でずいぶん前からあったのだが、学力学習状況調査が優れていて、せっかく自分たちの県で、子どもたちが優秀な力をつけて、「さあ、自分たちの県内の事務所で働いて欲しい、活躍してほしい」と思ったのに、たくさん出ていってしまうというようなことで、県知事も教育長もとても残念がっておられた。そうになってしまうともったいないなという思いはある。

○教育長

教育大綱を目指すところをどのように実現するかということにも通じると思う。そういうものを評価できる指標があれば良いと思うが、おそらく正確にそのようなものを計った資料がないように思う。見てはみるが、難しいかと思う。

また、総合教育会議を開く前に、教育委員会としてある程度方向性を共有してはどうかというご意見を頂戴したが、そういう方向で調整をしていきたいと思う。

もう一つ思うのは、そういう大きな方向性は共有させていただくとしても、総合教育会議の場というのは「教育委員会 対 市長」ということではないと思うので、それぞれの委員さんがお持ちの見識を、その場で独自に表明いただくということも非常に大事だと思っている。そうでないと「教育委員会 対 市長 部局」のディベートの会みたいになってしまうので、そうはならない方がよい。しかしながら、おっしゃっていただいたように、教育委員会として事前に大きな方向性を共有させていただくような場を持たせていただきたいと思います。そう

いう思いも込めて、今回このような話合いの場は3回目ぐらいになると思うが、  
その中でこういうご意見を頂戴したので、ぜひ尊重させていただいて、そのよ  
うな方向に進めさせていただこうと思う。

貴重なご意見を頂戴し感謝する。今後も皆様のご意見をいただきながら進め  
てまいりたいと思うので、どうぞよろしくお願いしたい。